

令和3年度大阪府同窓会 学術講演会



《講演テーマ》

「**歯科診療における感染症対策**

～ **新型コロナウイルス感染症 COVID-19の Up-to-Date** ～」

大阪歯科大学 細菌学講座 主任教授 **沖永 敏則 先生**

日時 令和3年7月31日(土) 午後2時～午後4時

場所 ライブ講演(事前登録制)

受講料 無料(会員のみ) * 申込方法は裏面をご覧ください。



【略歴】

2002年 九州歯科大学 卒業

2003年 臨床研修歯科医(九州歯科大学 第1口腔外科講座) 修了

2007年 九州歯科大学大学院 歯学研究科博士課程(感染分子生物学専攻) 修了

2007～2009年 アメリカ オクラホマ大学歯学部 Health Sciences Center

2010年 九州歯科大学 感染分子生物学分野(旧:口腔細菌学講座) 助教

2015年 九州歯科大学 感染分子生物学分野 講師

2018年 大阪歯科大学 細菌学講座 主任教授(現在に至る)

パンデミックを引き起こしている新型コロナウイルス感染症 COVID-19は、変異型ウイルスの出現によって、新たな感染ステージに移行しているように感じています。

新型コロナウイルスは2019年に報告されてから、多くの研究結果および臨床報告が今までにないスピードでビックデータとして蓄積され、様々なエビデンスが構築されてきております。新型コロナウイルスの感染経路として、飛沫および接触感染に加え、エアロゾル感染の可能性が報告されています。新型コロナ感染症の特徴として、無症状で経過する一方で、ウイルス侵入後のサイトカインストーム、血栓症に至るなど重篤な症状が報告されています。無症状や自覚症状が軽微である場合は、スプレッダー(spreeder)となり、クラスター感染に関連する可能性が高まります。また、高齢者や、糖尿病等の基礎疾患を有する感染者は、重篤な肺炎となり発症後死亡へ至る確率が高くなっていますが、変異型ウイルスの出現により感染者年齢層や症状などが多様に変化しているのが現状です。開発された新型コロナウイルスに対するワクチンは各国で接種が進んでいるものの、有効な治療法が開発されていないため、いまだ感染対策は非常に難航しています。

アメリカの疾病管理予防センター(CDC)は、歯科医療は個人用防護具(PPE)を使用した標準予防策(スタンダードプレコーション)により、空気・飛沫・接触感染経路に対する予防策を徹底するように求めています。今回の講演では、新型コロナウイルス感染症における最新のトピックスから、改めて歯科診療における感染症予防について考えていきたいと思っております。この講演が開催される頃、全世界で新型コロナウイルスとの闘いが終息に向かっていていることを願ってやみません。

主催 大阪歯科大学大阪府同窓会

募集要項

大阪府同窓会で毎年開催していた学術講演会は、去年は新型コロナ感染予防の為、残念ながら開催できませんでしたが、本年は、ご案内のセミナーをオンラインで開催いたします。

参加定員は、200名です。

定員になり次第受付は終了させていただきます。

申込方法

参加を希望される会員は、こちらからお申し込み手続きを行ってください。
(同窓会のホームページからも可能です)

<https://forms.gle/QuyKB86wtPDEbWQv6>

申込み QR コード →



入力フォームに必要事項をご記入いただき手続きを完了させてください。

詳細については、後日（開催 約 1 週間前）、本セミナーのご案内をメールにてご案内させていただきます。

視聴は、PC、タブレット、スマホなどから参加できますが、WebEX（シスコシステム）を使用しますので、動作環境などは事前にご自身でご確認ください。また、本セミナーの録画、録音、資料の二次使用は禁止しています。

本セミナーは、日歯生涯研修事業として申請中です。単位登録希望者は、申込時に会員 ID（6 桁）をご記入ください。

アーカイブ配信

セミナー終了後、アーカイブ配信を計画中です。

詳細については、ホームページの大阪府同窓会ページでお知らせします。